

平成20年度生涯学習
講座・自主講座紹介
『大正琴 花みずき』



●第2・第4火曜日

午後7時半～9時半

講師は吉屋久子先生です（参加を希望する方は、つなぎ文化センター☎783096まで）

○参加者の声○

大正琴は、町民講座として平成14年から3年間開講された講座であった。町民講座当時は11名だったが4年目からは自主講座となり、教育委員会の好意もあって5名で続けていたが昨年1名止めて4名となったが、聞くところによると近々新人1名が参加するようである。また、この会の名前がないのは何かと不都合

であり、何か可愛い名前をつけようと「花みずき」と命名した次第である。趣味を同じくする者が一同に会することとは何よりも楽しみである。津奈木町では文化活動が活発であり、やる人は何種類もやるが、やらない人は何もやらない。私は多くの趣味を持ち何種類もやっている人を尊敬している。一度の人生楽しく過ごしたいものである。私に体が二つあれば詩吟がやりたい。詩吟は佐世保にいた当時、熊本の発表会に何回も行ったものである。何事も続けることに意義があると思うが、体の続く限り社交ダンスと大正琴は続けたい。（濱本純男）

短歌

つなぎ短歌会

茂りたる裏山の木々枝切れられ
明るき道に冬の陽がさす
西川 ムキ

朝の陽は海きらめかせ新春を
ことほぐ如く柔らかに照る
福田八重子

霜深く景色をとざす箱根路を
バスに超えたる若かりし日よ
寺本ツルヲ

暖かき夕餉を囲む団欒に
吾もありぬを至福と思う
西 滋子

裸木となりて春待つ銀杏を
いくたび見しや年重ねきて
野田 浦子

突然に補聴器こわれ正月の
団欒の中ふと来し孤独
加来 道子

肥後狂句

夫婦円満
互いにケア（介護）しとります
地団太踏んで（口惜しいね）
この寒空に 使い捨て
達 生

夫婦円満
あなたおまえとあの世でも
地団太踏んで
振り込め詐欺にほぞを噛む
幸 相

夫婦円満
見かけんごつは無かばいた
地団太踏んで
買ってやるまで泣きやまん
神無月

夫婦円満
互いの痛み分け合って
地団太踏んで
悔やしがってももう遅い
寅之助

夫婦円満
いつも労わり合うとらす
地団太踏んで
一字違いのジャンボくじ
万 葉

〔次回の笠〕
○新婚さん
○冷たいなあ
一笠一句を
四月六日（月）迄
津奈木町教育委員会へ

随筆



「子どもたちを輝かせたい」
岩本照男（津奈木ジュニア
バレーボールクラブ監督）

時の経つのは早いもので、高校を卒業して水俣のチッソに入社したのが二十六年前、水俣で九年間過ごし、結婚を機に津奈木町に来て十七年になります。高校卒業までの十八年間は芦北町の大岩という山の中で過ごし…とは言っても、高校のときは部活動に明け暮れる毎日で、休日もほとんど芦北にすることがありませんでしたので、実質、芦北で過ごしたのは十五年くらいでしょう。もはや、津奈木町は第二の故郷ではなくなりました。

さて、「存知の方もおられると思いますが、私は本町にてバレーボールの指導というかたちで子供たちと接する機会をいただいております。おかげさまで、外見こそ

教えてはいけないという使命感にかられ、自分自身も日々勉強の繰り返しで…心身ともに成長させてもらっております。また、指導を通じて、いろんな方との出会いがあり、それがまた勉強になり、バレーの指導方

歳相応に老けてはきましたが、気持ちの方は十代？とまではいきませんが、常に若さを保っているつもりでいます。最初は「バレーの楽しさを教えたい」との思いで始めたことですが、教えたことを面白いほど吸収していく子供たちを見てみると、本心に嬉しい反面…間違ったことを

法だけでなく人間形成の面でも大いに役立っていると思います。私が常々子供たちに指導をするときに心がけていることは、①目標の高さを合わせる（物理的にだけでなく…）②成長（上達）している瞬間を見逃さない③とにかく楽しませる！ということでしょうか。

怒鳴って苦虫を噛んで指導するよりも、楽しませて・競わせて・悔しがらせて、自ら頑張ろうと思わせる。その頑張る過程の手助けをしてやること・気付けさせてやるのが私の役目だと考えています。このところ、元気がいっぱいコートを走り廻る、理想のチームカラーが出来つつあります。これから、今まで以上に「子供たちを輝かせてあげたい！」と思えますので宜しくお願いいたします。